

2023年1月23日

報道関係者各位

福井コンピュータ株式会社

土木施工管理システム「EX-TREND 武蔵」の最新版を、 2023年2月21日（火）リリース

～電子納品基準・要領改定への対応をはじめ、さらなる機能強化で ICT 活用工事を支援～

建設業向け CAD メーカーの福井コンピュータ株式会社（本社：福井県坂井市、代表取締役社長：杉田 直）では、土木施工管理システムの最新版となる「EX-TREND 武蔵 Ver.23」を 2023 年 2月21日にリリースいたします。

国土交通省では、インフラ分野の DX を掲げ、i-Construction や BIM/CIM など、積極的なデジタル化推進によって、建設現場の生産性向上を図る取り組みを行っています。そのような中、地方自治体においても ICT 活用工事など、デジタル化の動きが広がりつつあります。

このような状況を踏まえ、今回リリースする最新版では、電子納品各基準・要領改定への対応や、クラウドサービスを介した外業アプリとの連携による外業内業双方の業務効率化を図る機能強化などで、建設業務のデジタル化を支援して参ります。

【EX-TREND 武蔵 Ver.23 の概要】

- 電子納品各基準、要領改定への対応
- クラウドサービスを介した外業アプリ連携による業務効率化
- J-LandXML Ver.1.5 に対応
- 既存プログラムのブラッシュアップ
- オンプレミス型仮想環境への対応（発注者用）

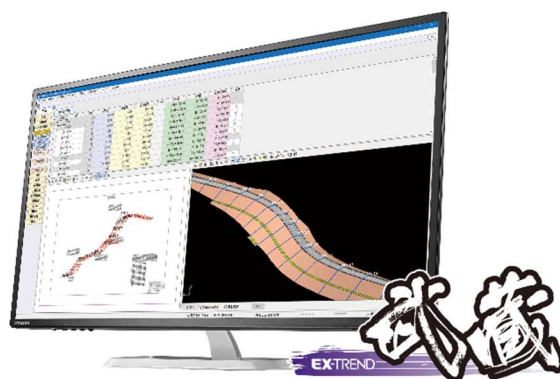
※詳細は次頁参照ください。

【リリース日】 2023 年 2 月 21 日（火）

【価格】（税別）

- 写真・出来形セット：¥600,000
- 建設 ICT 支援システム（建設 CAD + 3 次元設計データ作成オプション）：¥590,000

※他要問合せ



【本件に関するお問合せ】 福井コンピュータ株式会社 事業本部 営業企画課 担当：牧野
福井県坂井市丸岡町磯部福庄 5-6 HP：<https://const.fukuicompu.co.jp/>
Tel：0776-67-8860 問い合わせフォーム：<https://hd.fukuicompu.co.jp/contact/general.php>

【EX-TREND 武蔵 Ver.23 の機能】

● 電子納品各基準、要領改定への対応

No.	国の機関	要領名・基準名	一般土木			農林			港湾空港			営繕
			土木	電気	機械	土木	電気	機械	土木	電気	機械	
1	国土交通省	国土交通省R4.3	済	○ 工事	○ 工事							
2	国土交通省	港湾局 R4.3						済	○	○		
3	水資源機構	水資源機構 R4	○									
4	NEXO	NEXO(調査等業務)	○ 調査									
5	北海道	北海道開発局 R4.5	○	○ 工事	○ 工事	○ 工事	○ 工事	○ 工事	○ 工事			
6	農林水産省	発注者機関コード及び発注者コード表 R4.4										
7	農林水産省	業務キーワード R4.10										
8	農林水産省	i-Construction/BIM/CIM関連(R4改定)										

No.	整備局および都道府県名	自治体名	一般土木			農林			港湾空港			営繕
			土木	電気	機械	土木	電気	機械	土木	電気	機械	
1	山形県	山形県 R4.3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2	群馬県	前橋市 R4.4(営繕)										○
3	静岡県	静岡県 R4.4	○			○						
4	静岡県	静岡県 R4.10	○			○						
5	京都府	京都府 R4.3(建設交通部)	○			○ 設計						
6	京都府	京都府 R4.6(農林水産部)	○			○ 設計						
7	千葉県	千葉市 R4.4	○ 工事	○ 工事	○ 工事							
8	鹿児島県	鹿児島県R4.3	○	○	○	○	○	○				○
9	北海道	北海道(建設部) R4.4						済	○	○		
10	群馬県	群馬県 R4.4	○	○	○	○	○	○				○
11	滋賀県	大津市 R4.6(工事)	○ 工事									
12	秋田県	秋田県 R4.10	○	○	○	○		○				○

● クラウドサービスを介した外業アプリ連携による業務効率化

➢ 弊社の現場計測アプリ「FIELD-TERRACE」で取得した座標を、弊社クラウドサービス「CIMPHONY Plus」を介して取込みが可能になり、座標データをワンタッチで座標プロット・杭打ち計算・法面展開図に連携できるようになりました。



● J-LandXML Ver.1.5 に対応

➢ 「建設 CAD」の「3次元設計データ作成」オプションにて、LandXML1.2 に準じた 3次元設計データ交換標準(案) Ver.1.5 に対応しました。

● 既存プログラムのブラッシュアップ

- 「建設 CAD」の「エレメント法入力ウィザード」で、図面の下図表示が可能になり、より入力しやすくなりました。
- 「写真管理」の施工管理値(表)において、設計値と実測値の差を入力値のまま計算するコマンドを追加しました。
- その他、ユーザー様からの要望に対する改良を多数行っています。

● オンプレミス型仮想環境への対応(発注者用)

➢ 「EX-TREND 武蔵」の発注者版である「EX-TREND 官公庁シリーズ」において、オンプレミス型仮想環境(VDI)における運用に対応しました。

以上